



大会公示

本大会は、日本自動車連盟（JAF）の公認のもと、FIA国際モータースポーツ競技規則とその付則、およびそれに準拠したJAF国内競技規則とその付則、スーパー耐久機構発行の「スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則・技術規則書」、STO発行のフレテン、ならびに、本特別規則書に従い、国内格闘式競技として開催される。本特別規則書には、岡山国際サーキット発行の「4輪レース一般競技規則書」が含まれる。また、サポートレースについては別途特別規則書を発行する。

第1条 競技会の名称

「スーパー耐久&F3レース in 岡山」
スーパー耐久シリーズ2012第4戦

第2条 オーガナイザーの名称

株式会社岡山国際サーキット/アイダクラブ（AC）

第3条 大会組織委員会

組織委員長 杉浦 隆浩
組織委員 秋山 雄亮
組織委員 土井 誠
その他の組織委員は公式プログラムに示す。

第4条 開催場所（サーキット）

名称：岡山国際サーキット
住所：岡山県美作市滝宮1210
TEL：0868-74-3311 FAX：0868-74-2600
長さ：（1周）3,703m/右回り

第5条 開催日程および開催クラス

8月25日（土）〔公式予選〕 アチーブメント全日本F3選手権第9戦/第10戦
スーパー耐久2012第4戦
Netz Cup Vitz Race関西シリーズ第3戦
WAKO'Sスーパーカート岡山シリーズ
〔決 勝〕 アチーブメント全日本F3選手権第9戦
WAKO'Sスーパーカート岡山シリーズ
8月26日（日）〔決 勝〕 スーパー耐久2012第4戦
アチーブメント全日本F3選手権第10戦
Netz Cup Vitz Race関西シリーズ第3戦

第6条 参加申し込み

- 出場申し込み期間
2012年7月23日（月）～7月30日（月）
- 出場申込先
岡山国際サーキット・レース事務局
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
TEL：0868-74-3311 FAX：0868-74-2600
- 参加申込料およびSTO運営負担金（消費税含む）
①GT3クラス
参加申込料 STO運営負担金 合計
315,000円 + 10,500円 = 325,500円
②その他のクラス
参加申込料 STO運営負担金 合計
105,000円 + 10,500円 = 115,500円
- 保険料
ドライバーは900万円以上、ピット要員は400万円以上の傷害保険に加入していなければならない。出場申し込みの際に「保険加入済申告書」を提出しなければならない。レースに有効な保険に未加入または補償額が国内競技規則付則「自動車競技の組織に関する規定」第8条に定める額（ドライバー900万円以上/ピット要員400万円以上）に満たない場合は、別途出場登録料が必要となるので大会事務局にて所定の手続きを行う事。
- 参加者およびドライバーの参加資格

①参加者は有効なJAF競技参加者許可証を所持するものでなければならない。ただし、競技参加者をドライバーに兼任する場合はその限りではない。また、参加申込に際して所定の手続きにてドライバー・ピット要員を指名登録しなければならない。

②ドライバーの資格およびT. B. N. ドライバー登録
スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第5条に従うこととする。また、T. B. N. ドライバーを正式登録できるのは8月24日（金）出場受付時までである。この時点で正式登録されない場合、自動的にT. B. N. ドライバーは抹消される。

第7条 車両変更料およびドライバー変更料

- 車両変更料・・・・・・・・・・10,500円
- ドライバー変更料・・・・・・・・・・10,500円

第8条 最大決勝出場台数、レース時間

- 最大決勝出場台数：53台
- 決勝レース時間：3時間（180分）
- 最大レース時間：3時間経過後先頭車両がフィニッシュラインを通過した際にチェッカーフラッグが提示される。

第9条 決勝レーススタート日時及びスタート手順

8月26日（日）時間は公式通知に示す。
スタート方法及び手順はスーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則に従って行われる。

第10条 赤旗によるレース中断時の停車位置（赤旗ライン）

コース上赤旗ライン：コントロールライン手前メインストレート上
ピットレーン上赤旗ライン：18番ピット前ピットレーン上
なお、公式予選時は各自ピット前作業エリアとする。

第11条 車両検査

日 時：8月25日（土）時間は公式通知に示す。
実施場所：公式通知に示す

第12条 使用タイヤ

横浜ゴム社製の指定タイヤとする。

第13条 使用燃料

本大会で使用できる燃料は、岡山国際サーキットBパドック内ガソリンスタンドで販売する以下のガソリンが指定される。
《無鉛ハイオク》

商 品 名	出光スーパーゼアス
密 度	15°C g/cm ³ 0.7359
オクタン価	リサーチ法 100
鉛 分	g/L 0

第14条 パークフェルメ

決勝レース後の車両保管場所はメインストレート上とする。

第15条 出場受付（書類検査）

日 時：8月24日（金）時間は公式通知に示す。
場 所：16番ピット2F・大会事務局
※出場受付時に併せて、JAFドライバーズライセンス、エントラントライセンスチェックを行う。

第16条 メディカルチェック

競技長あるいは大会医師によりメディカルチェックの指示があった場合は、その指示に従うこと。

第17条 フリーフィン

すべてのドライバー及び各チームの競技担当責任者（チームプリンシパル）はフリーフィンに必ず出席しなければならない。フリーフィンに遅刻・欠席した場合はペナルティが課せられる。また、当該ドライバーまたは競技担当責任者（チームプリンシパル）は、再フリーフィンを受けなければならない。下記再フリーフィン料が必要となる。
日 時：8月25日（土）時間は公式通知に示す。
実施場所：コントロールタワー2F・フリーフィンルーム
再フリーフィン料：20,000円（税込）

SUPER TAIKYU & F3 RACE in OKAYAMA

スーパー耐久シリーズ 2012 第4戦

特別規則書

SUPPLEMENTARY REGULATIONS



8/25 SAT 26 SUN

【オーガナイザー】
株式会社岡山国際サーキット
アイダクラブ(AC)



第18条 公式通知の掲示場所

16番ピット2F・大会事務局

第19条 ピットクルー

- 登録できるピットクルーの人数(チーム監督を含む)・・・10名まで
- シグナリングプラットフォームに出られるサインマンの人数・・・2名まで
- 本大会に参加が許されるピットクルーは、満16歳以上でエントラントにより指名され、保険手続きをした者に限る。

第20条 参加車両規定

スーパー耐久機構発行のスーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則・技術規則に合致した車両とする。さらに技術委員長の求めに応じて提出できるように車両公認書、または車両整備解説書を準備しなければならない。

第21条 自動計測用発信装置(トランスポンダー)の装着

STEL走行前の配布時間に各ドライバー別のトランスポンダーが誓約書と引き換えに主催者より配布される。配布されたトランスポンダーはSTEL走行出走までに取り付けておくこと。また、競技終了後速やかに大会事務局まで返却のこと。

第22条 公式予選

- 参加車両
登録されたドライバーは必ず公式予選に参加しなければならない。その際使用する車両は公式車両検査に合格したものに限られる。
- 予選方法
スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第7条に従って行われる。
- 予選通過基準タイムを達成しなかったドライバーが決勝出場願書を提出する場合は、予選暫定結果発表後30分以内に大会事務局に提出すること。手続きは2012岡山国際サーキット・4輪レース一般競技規則 第28条に準ずる。

第23条 スタート

- スタート方法はローリングスタート方式とする。
- スーパー耐久レースにおけるスタート手順
スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第13条に従って行われる。

第24条 反則スタート/スタート手順違反

反則スタートに対しては、ドライビングスルーペナルティもしくは、決勝結果に30秒を加算するものとする。また、審判員の判定に対する抗議は一切受け付けられない。

第25条 決勝レース中のタイムペナルティ

- 決勝レース中の反則に対し、以下のタイムペナルティ(罰則)が課せられることがある。
 - ドライビングスルーペナルティ:
ドライバーはピットレーンに進入し、ピットを停止せずに、レースに復帰しなければならない。
 - ペナルティストップエリアにおけるペナルティストップ:
ドライバーは、ピットレーンに進入し、ペナルティストップエリアに最低でも課せられたタイムの間停止した後、レースに復帰しなければならない。
上記ペナルティストップの際、自チームのピットに停止することは許されない。
上記2)においてタイムペナルティを受け車両が停止している間、エンジンを止める必要はないが、止まってしまった場合、ペナルティの時間が経過した後、再始動することができる。
反則行為が確認され罰則が決定後、直ちにペナルティストップを示すボード(「P」+カーNo.)あるいはドライビングスルーペナルティを示すボード(「D」+カーNo.)を、を記入した黒の表示板がコントロールラインで表示される。また、書面もしくはピット放送・計時モニター表示等に参加者に通知が行われる。
- コントロールラインでタイムペナルティが表示されてから3周以内にタイムペナルティを規定通り実行できなかった車両については失格となる。ただし、当該表示後3周以内にレースが終了したタイムペナルティを規定通り実行できなかった場合は、レース終了完走タイムに対してタイム加算が行われる。レース終了後に競技結果に加算されるドライビングスルーまたはペナルティストップに相当するタイムは、ドライビングスルーを「30秒」、ペナルティストップを「停止するタイム」に30秒加算したタイム」とする。
- 競技中失格となったドライバー及び車両への通告として、当該車両の競技番号を記入した黒の表示板と黒旗がコントロールラインで表示される。参加者あるいはその代理人もそれぞれ“停止”の信号を表示すること。もし、ドライバーが依然として

停止しない場合には、追加の罰則が課せられる場合がある。

- 1台の車両で複数ドライバーが参加する競技において1名のドライバーが失格となった場合、その車両の他の登録ドライバーも当該レースから除外される。
- 本規則に罰則に関する明確な条項が規定されていても、必要な場合には罰則の追加を妨げない。
- 本条項に従い、課せられたタイムペナルティに対する抗議・控訴は認められない。

第26条 ドライバー交替およびスタートドライバー申告

- 公式予選・決勝レースを通しドライバー交替を行う際には、ピット責任者は事前に担当オフィシャルに必ず申告すること。
- 参加者は公式通知に示された時間内に決勝レースのスタートドライバーの申告を大会事務局へ行わなければならない。
- 各ドライバーの最大運転距離は、当初のレース時間の3分の2を超えてはならない。(GT3クラスのプラチナドライバーは別規定)
- ドライバー交替の際は自動値計測器の積み替えを行うこと。計測器積み替え作業にあたる作業員は、スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第15条(7)に規定された、ピット作業員4名には含まれないものとする

第27条 スーパー耐久クラスの燃料補給

スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則及び下記事項に従って行うこと。

- 燃料補給を行う場合は、ピット責任者は事前に担当オフィシャルに必ず申告しその了承を得ること。また、燃料補給に際してオフィシャルより指示のあった場合はその指示に従うこと。
- 燃料補給は次の手順・方法で行うこと。
 - エンジンを停止する。
 - アースを取り付ける。
 - 消火器を構える。
 - 給油する。
 - こぼれた燃料を拭き取る。
 - アースを取り外す。
 - 消火器をピットに格納する。
- 燃料補給に際して給油取扱が不適当と判定されたチームには罰則が適用される。これに対する抗議は受け付けられない。

第28条 レース中断・再スタートおよび延期・取り止め

保安上または不可抗力による特別な事情が生じた場合は大会審査委員会の決定により、レースの中止・延期・取り止め、あるいはレース距離の短縮を行うことが出来る。また、事故・天候またはその他の理由により通常のレース継続が出来なくなった場合、レースは中断されるかセーフティカーを使用して非競技化される。

- レースの中断と再スタート
スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第17条に準ずる。
- セーフティカーの導入
FIA国際モータースポーツ競技規則付則H項の規定に従い必要に応じてセーフティカーが導入される。
- レースが赤旗中断され、やむを得ず再スタートされなかった場合にスーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第14条に規定された「2回のドライバー交代を伴うピットストップ」を行ってしなかった車両は、レース結果にタイム加算されるものとする。
尚、加算されるタイムは決勝レーススタートまでに公式通知にて発表される。

第29条 レース終了および順位の設定

- スーパー耐久シリーズ2012シリーズ規則 第16条の通りとする。
- レース終了の合図は、所定のレース時間を終了し、最初に先頭車両がコントロールラインを通過する時点でレース終了が表示される。
- チェッカーフラッグの提示を受けたドライバーは徐行して1周した後パークフェルメへ停車すること。なお、各クラス上位3台のドライバーは暫定表彰を行うのでオフィシャルの指示に従いコントロールタワー2F機ボディウムへ向かうこと。また、再車検対象車両のチームはオフィシャルの指示に従い、すみやかに車両を車検場へ移動すること。
- チェッカーフラッグが提示された時点で、ピットインしていた車両の出走は禁止される。

第30条 パークフェルメ(車両保管場所)

メインストレート上

第31条 賞典及び制限

- 賞典
決勝正式結果発表後、大会事務局にて各クラス1～3位には主催者よりトロフィーが授与される。その他の賞典は下記の通り。

順位	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	ST-5
1	2.0万	2.0万	2.0万	2.0万	1.0万
2	1.5万	1.5万	1.5万	1.5万	7万
3	1.0万	1.0万	1.0万	1.0万	5万
4	7万	7万	7万	7万	3万
5	6万	6万	6万	6万	2万
6	5万	5万	5万	5万	1万

- 賞典の制限

3台以下	賞典なし
4～5台	2位まで
6～7台	3位まで
8台	4位まで
9台	5位まで
10台以上	6位まで

第32条 競技会主要役員

審査委員長	藤田 直廣
審査委員	浅田 義友
審査委員	高橋 伸治

競技長	村上 敦
副競技長	高橋 隆正
コース委員長	早川 健二
技術委員長	中村 公彦
補給監察委員長	前田 邦彦
計時委員長	寺尾 茂己
救急委員長	森山 賢
事務局長	数山 真也

上記以外には公式プログラムもしくは公式通知に記載する。

第33条 審判員

2012年JAF国内競技規則10-20の審判員の判定事項は次の通りとする。

- 審判員(走路)
 - FIA国際モータースポーツ競技規則付則H項に関する判定。
 - FIA国際モータースポーツ競技規則付則L項第4章に関する判定。
 - 2012年岡山国際サーキット・4輪レース一般競技規則第4章安全規定に関する判定。
- スタート審判員
 - 2012年岡山国際サーキット・4輪レース一般競技規則 第7章 第30条 スタートに関する判定。
- 審判員(ピット)
 - 2012年岡山国際サーキット・4輪レース一般競技規則 第8章に関する判定。

なお、上記1.～3.の判定事項に関しては、JAF国内競技規則10-21に従い抗議は認められない。

第34条 決勝レース中の青旗運用について

本大会では複数のクラスの車両が混走となるため、決勝レース中においても、より速い車両に追い越されようとしている場合は青旗が振動表示される。

第35条 会場内見取り図

ピット・パドック見取り図詳細は公式通知に示す。

以上
大会組織委員会